

SSH 通信

「TSURUOKA SCIENCE CLUSTER」におけるSSH活動の深化による科学技術の発展を担う「人財」の育成

第34号(令和元年12月)

令和元年度鶴南ゼミ中間発表会

10月10日(木)にこれまでの研究成果をまとめた「鶴南ゼミ(探究)」の中間発表会が行われました。中間発表会は今回で6回目になります。今年は地震の影響で、会場を鶴翔会館に移しました。2学年生徒全員が、パネルに掲示されたポスター前で各自プレゼンテーションと質疑応答を行うポスターセッション形式で発表を行いました。

校外から東北大学大学院工学研究科教授 安藤晃様をはじめ、70名を越える多くの方々から足を運んでいただきました。酒田南高校、山形県立加茂水産高校の生徒のみなさんからも参観をいただき発表会を通しての交流を図ることができました。発表生徒達は実際にポスター発表し、参観者からいただいた様々な評価、指摘、アドバイスなどから気づく部分が多く、貴重な経験をすることができました。

発表テーマ数は下記の通りでSS探究(Super Science)が37、HS探究(Human Science)が32、合計69のテーマでした。

SS探究											HS探究			
物理A	物理B	化学A	化学B	生物A	生物B	地学	数学	家庭科	保健体育	先端研	社会	国語	英語	芸術
4	3	1	2	6	3	1	6	2	8	1	12	15	2	3



11月6日(水)～9日(土)の日程で、台湾への進路研修が実施されました。研修のメインは、台北市立建国高級中学との姉妹校提携・英語でのゼミ発表・生徒の交流活動でした。多くの海外の学校と姉妹校提携をしている台湾随一の学校である建国高級中学との今回の提携は、本校生にとってさらなる貴重な海外交流の機会とすることが求められます。今までは、それぞれのゼミでの研究成果をお互いに英語で発表しあう形式でしたが、今後は、例えば共通のテーマについて両校で研究をし、異なる立場からの見解をディスカッション形式で実施したり、交換留学生をお互いに派遣してホームステイをさせながら両校での授業や行事に参加させる、などの活動も期待できます。日本と海外の双方の視点から、各々の国の優れている点や課題を認識し、その解決法を考察する機会を作ることが求められると思います。数年後には中高一貫校となる本校にとっての目玉の1つとすることが大切であると感じさせられた交流活動でした。



台湾 ゼミ発表グループ

- | | |
|---|---|
| ① バイオメテイクスに基づいたスマホケース ver.ヤモリ&ヘビ
三浦楽人(2-1) 若生樹(2-1)
齋藤大星(2-3) 渡辺友規(2-3) | ④ ジャンプの可能性
齋藤涼乃(2-3) |
| ② 現在色素分析中です!! ~LEDと花の成長~
上野豪治(2-1) 阿部真実(2の3) 板垣璃里子(2-3)
鈴木綾乃(2-3) 吉宮桃香(2の3) | ⑤ ロングセラーお菓子の秘密
渡邊彩子(2-3) 小倉愛華(2-4)
鈴木柚(2-5) 百瀬笙子(2-5) |
| ③ 鶴南鳥人間コンテストin2019
佐久間翔(2-1) 齋藤和(2-3) 日向悠輔(2-3) | ⑥ “漫画の神様”手塚治虫のメッセージ
~ブラックジャックより~
五十嵐涼(2-5) |

以上6発表 18名



今回の研修のメインである建国高級中学との交流会に臨みました。校門をくぐると、“ようこそ台湾へ!”のプラカードを持った建国中学の生徒さん達が歓迎してくれ、感動しました。ホールで自分の席に座った時は緊張しましたが、挨拶を交わして話をしていくうちに、打ち解けていくのがわかりました。建中生の英語力の高さには驚かされ、大いに刺激を受けました。セレモニーやパフォーマンスも楽しめ、最後には皆の笑顔も見られ、とても楽しい時間を過ごすことができました。

今回の台湾進路研修を通して、日本ではできない貴重な体験をすることができました。異国に行くことは初めての経験で、言葉が思うように伝わらなかったり、日本とは違う文化に戸惑ったりしましたが、お互いに協力し合うことで楽しい4日間を過ごすことができました。台湾ならではの食べ物を満喫したり、有名な場所を訪れたりして、とても有意義な時間となりました。この経験を力にかけて今後は学習に力を入れていきたいと思っています。



令和元年度 台湾進路研修

班別研修のガイドさんのチンさんはとても優しい方でした。すてきな雑貨屋さんやお茶屋さん、映えスポットに連れて行っていただき、台湾をより深く知ることができました。チンさんのおかげでとても楽しい班別研修になりました。チンさん、謝謝！



どんな人かな！ ドキドキ、ワクワク！ プレゼント交換で仲良くなりましたが、やっぱり英会話は難しいです。ペアの人の英語のペラペラさには驚かされるものがありました。さすが建中生！私も英語を上達させて、また会いたいです。

海の宝アカデミックコンテスト2019全国大会

11月16日（土）北海道大学大学院水産科学研究院（函館市）で行われた、「海の宝アカデミックコンテスト2019全国大会」に参加して来ました。ゼミメンバーを代表して発表することになっていた生徒は、移動の最中や発表会前日の夜まで発表原稿の作成に時間を費やして発表に臨みました。結果は「奨励賞」に相当する『マリンスノー賞』を受賞しました。

2年1組 小林泉

様々な恩恵を与えてくれる「海の宝」として今回「海のアカデミックコンテスト」で発表してきました。

他の学校の発表を見たときには、内容もちろん面白いものばかりでしたが、伝え方が上手だと思いました。相手への伝え方の大切さを知ったこの経験をこれからの発表に活かしていきたいです。



2年1組 桜井慶乃

私自身、今回日本海について調べていくうちに、海の課題・危機、地球温暖化のスピードの恐ろしさを感じました。数年間を経た研究結果は変化の仕方が目に見えて、海の大切さを重く感じ、私たちが今できることは何かを考えさせられました。

郷土Yamagataふるさと探究コンテスト

11月23日（土）に山形東高校講堂にて郷土Yamagataふるさと探究コンテストが開催されました。本校からは地域活性化ゼミの5名の生徒が参加し発表してきました。発表時間が10分と短い中でしたが、これまでの活動内容を一生懸命にプレゼンをしていました。審査の結果、「最優秀賞」をいただくことができました。

2年1組 伊藤杏

私たちは春から鶴岡駅前を市民の憩いの場にしようと、鶴お菓子まつりをはじめ様々な活動をしています。今回のコンテストはその活動を市外の人にも知ってもらいたい良い機会でした。また他校の地域の課題解決の取り組みを知り、自分たちの活動に取り入れていきたいと思う工夫もありました。今回の発表で良かった点と改善すべき点があったので、次回の発表に活かしていきたいです。



科学の甲子園山形県大会

10月20日（日）、科学の甲子園山形県大会が東桜学館高校で行われ、本校はAチーム（2年生）が総合3位、Bチーム（1年生）が総合9位（リケジョ奨励賞 女子3名以上のチームで最上位）でした。

Bチームキャプテン 1年1組 野澤 賢史

今回の「科学の甲子園」は、1年生のみのチームであった我々にとって決して易しくはない課題も多かった。然しその中で第9位、リケジョ奨励賞という結果は、及第点であったと考える。領域によっては満点や平均点を大きく引き離れた筆記もあり、我々の強みとしたい。実技も、準備期間のひらめきや協力によって、より良いものを作る過程を楽しむことができた。来年度、より力をつけてさらに良い成績を残せるようにしたい。



「未来創造プロジェクト」中間発表会

10月16日（水）に東桜学館高校において2年次生SSH課題研究「未来創造プロジェクト」中間発表会が開催されました。本校からは2グループ合計7名の生徒が発表してきました。東桜学館の2年次生が全員ポスター発表を行う中で本校の生徒も堂々とポスター発表をすることができました。自分たちの学校で発表するのは違った雰囲気を感じ取ることができ、非常に勉強になりました。



2年1組 佐野峯羽那

今回私たちは、東桜学館高校にて行われた「未来創造プロジェクト」中間発表会に参加しました。東桜学館高校の生徒だけでなく、県外の高校の生徒の発表も聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。プレゼンでは、鶴南の中間発表会とは異なった質問や意見をいただくことができ、大変良い経験となりました。

酒田東高校課題研究中間発表会

10月23日（水）に酒田東高校の課題研究中間発表会が行われ、本校より2年生8名（3テーマ）が発表者として参加してきました。本校の中間発表会後に行われたため、中間発表会で指摘いただいたことをできるだけ改善して発表に臨み、今後の活動・発表に向けて手応えや課題を感じることができました。また、酒田東高の発想豊かな研究内容や活発な質疑応答にも刺激を受けました。この経験を生かし、2月の全体発表会に向けて、より深い研究をしていきます。

以下は「自分の発表を振り返って、良かったところや次に向けての改善点」をまとめたものの一部抜粋です。

- ・初めて聞く人でも分かりやすいように用語の説明をしっかりとできた。
- ・できるだけ声を大きくして発表できた。
- ・+αの説明をして分かりやすく伝えられた。
- ・質問に対して自信をもって答えられるように知識をつけた。
- ・前回よりも連携を取り、スムーズに発表できた。実用化についてなど前は出なかった質問が来たのでそれにも答えられるように最後のゼミまでがんばりたい。
- ・発表の仕方はだいぶ慣れてきたように思います。質問の答え方が少しぐちゃぐちゃになってしまったので、次は整然と答えられるといいかなと思います。

